

スクールゾーンだより



令和7年1月15日
札幌市立あいの里西小学校
スクールゾーン実行委員会
会長 廣瀬 貴子

今年度2回目のスクールゾーン実行委員会では、主に雪道の交通安全について話し合いました。通学路の危険箇所の情報を共有して、子どもたちの安全を守るためにそれぞれ何ができるか意見を出したり、要望を伝えたりしました。年末年始は、例年に比べて降雪量が少なかったように思いますが、交差点は所々雪山が高く積まれている様子が見られます。見通しが悪い冬道の危険について、ご家庭でもお子さんと話し合ってください。

通学路の危険箇所

○福移通りの手押し信号付近

- ・交通量が多い。
- ・信号が黄色になっても減速することなく通過する車が多い。
- ・冬は特に、ツルツル路面で車は止まりづらくなる。

○氷柱や雪庇がある家の軒下

- ・氷柱を取ろうと近づくのは危険。

○細い道から太い道へ出る交差点付近

- ・雪山が高くなると人も車も見通しが悪くなる。

とまる・みる・きく・まづ



スクールガードリーダーさんのお話

- ・福移通りは交通量の多い危険な道だということを子どもたちにも知ってほしい。
- ・冬は、車がスリップして止まれないことがある。信号が青でも必ず左右の確認をしてから横断歩道を渡ってほしい。
- ・防寒のためだけではなく、落雪や落氷から頭を守るためにも帽子をかぶるようにしてほしい。



～ 情 報 交 流 ～

○交通課警察官から

- 日没後、信号のある交差点での歩行者事故が非常に多い。信号機が黄から赤になる変わり目に交差点に進入してくる車が多いことや、歩行者用信号が青になる前に渡り始める人がいることが原因と考えられる。

○北区土木維持管理課の方から

- 新雪除雪の基準については、市のホームページで確認できる。
- 急な降雪には対応できない場合がある。
- 3学期始業式までには、通学路の歩道の幅員が確保できるよう努力する。

○スクールガードから

- 毎朝、福移通りの手押し信号のところで交通安全指導をしている。
- 歩行者用信号が点滅しているときに無理に渡ろうとしたり、遊びながら渡ったりするのは危険なのでやめてほしい。

○町内会の方から

- 毎年除雪により雪山ができて通学路が狭くなるので心配している。
- 空き地や道路脇にできた雪山でそり遊びをする子どもがいる。危険なのでやめてほしい。
- 教育大駅の南あいの里側には信号機付きの横断歩道がないので、道を渡る際には十分注意してほしい。

バス乗車について指導中～交通安全実践会

教育大駅前のバス乗り場で、毎週水曜日と金曜日に交通安全実践会の方がバス待ちの際の並び方や、バスの乗車について指導してくださっています。

現在 100 名弱の児童がバスを利用して通学しています。駅は多くの人が通勤や通学などで利用する場所なので、公共のマナーを守って利用するよう学校でも繰り返し指導中です。

不審者に注意

あいの里西小の校区、または校区周辺で12月までで3件の声掛け事案が発生しています。いずれも放課後の時間帯です。交通安全実践会の方もパトロールをしてくださっていますが、ご家庭でも帰宅時刻を守ることや、できるだけ人通りの多い道を通ることなど防犯についてご指導ください。

町内会の取組として、地域の子どもたちに日常的に挨拶をしたり、声をかけたりして防犯に努めたいというお話がありました。地域の方の見守りがあるのは心強いです。

